

2023年度に起業した学生発ベンチャーたち

Umai Japan株式会社
代表取締役 杉本 稜太
(岐阜大 応用生物科学)



Umaiブランド農作物の提供及びサプライチェーンの再構築



アイデアピッチ (2022) 受賞→
→ビジコン (2023) 2位→仮説検
証プログラム (LLP) →起業

株式会社SAZO
代表取締役 ギル マロ
(名工大 工学部)



海外のECサイトからの輸入代行、商
品の輸出入販売、アプリの開発及び
販売等 韓国から

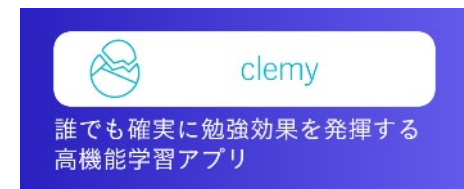


ビジコン (2023) 1位→仮説検証プログラ
ム (LLP) →起業→LLP全国大会 (審査
員賞) →CVG (経済産業大臣賞)

株式会社Liempia
代表取締役社長 西垣 快真
(岐阜大 教育学研究科)

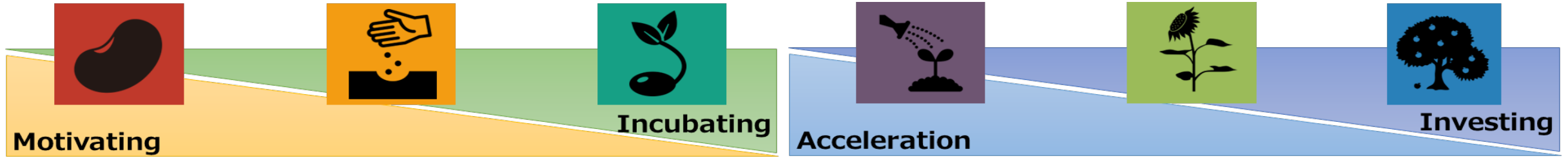


商業高校生向けの教育アプリの開発



ビジコン (2022) →ビジコン (2023)
→ 仮説検証プログラム (LLP) →起業

名古屋大学の大学発ベンチャー支援の活動



教育

アントレプレナーシップ教育
すそ野～起業までの人材育成プログラム

事業化

ライブラリー構築

スタートアップ準備資金

ものづくりベンチャー活動支援金

Tongali Gapファンド

学外とのシームレスな連携

名古屋大学発ベンチャーへの各種支援業務

- ・ 新株予約権を対価に知財ライセンス
- ・ 名大発ベンチャー称号授与
- ・ Back Office 等の専門家の紹介
- ・ ベンチャーズトークにおける産業界とのマッチング
- ・ ILSへの推薦、
- ・ 1st Round by 東大IPC への推薦

Tokai x Brave by BNV

場所

コワーキング
Idea stoa

オフィス・インキュベーション施設
インキュベーション施設

資金

名古屋大学・東海地区広域大学VF
東海5大学を対象としたベンチャーファンド

大学の研究成果を事業に展開

GAPファンドやインキュベーションプログラムによって、研究成果の事業化展開を加速させている。

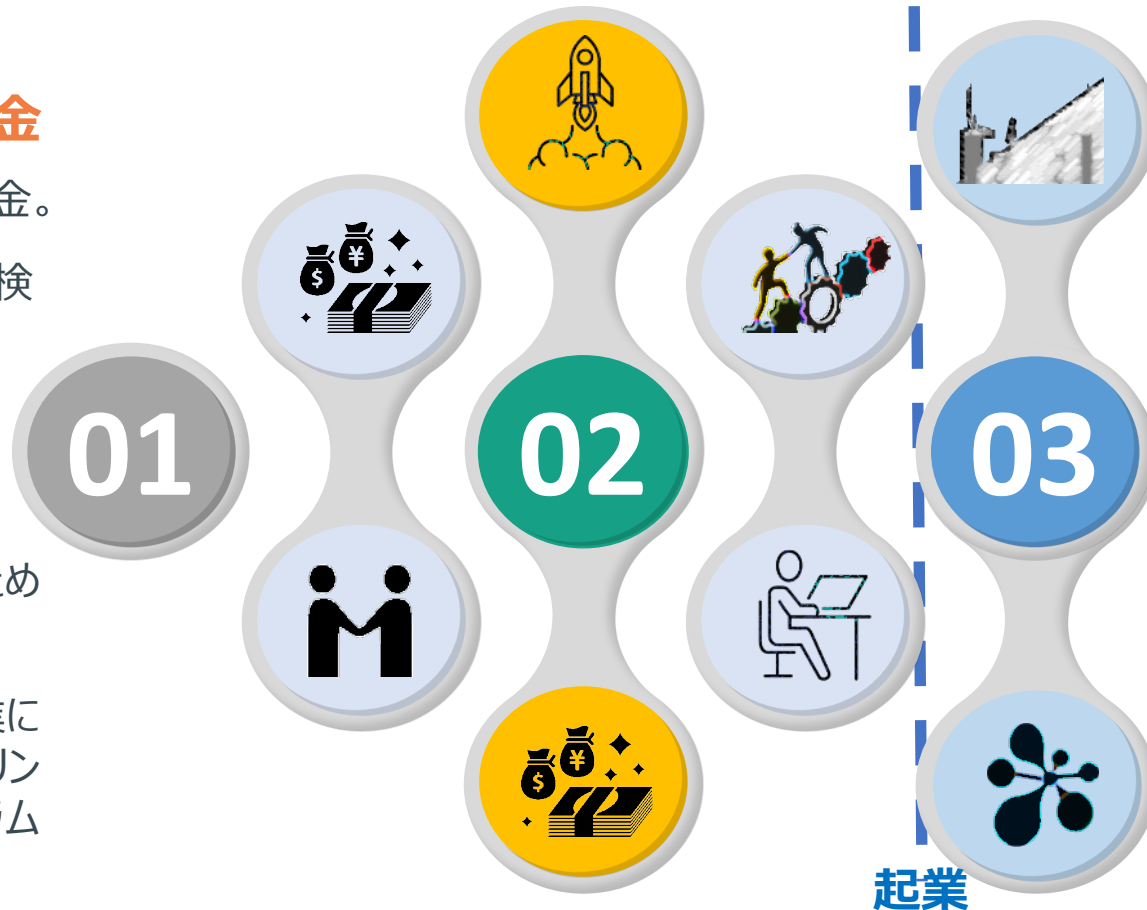
01 スタートアップ準備資金

5大学を対象としたシーズ育成金。
研究成果の事業化の可能性を検討するための補助金。

02 GAP ファンド

Tongaliで実施する事業化のための開発資金。

ビジネスプランの仮説検証、起業に必要な知識獲得と、個別メンタリング等のインキュベーションプログラムも同時に実施する。



03 名古屋大学・東海地区広域大学VF

起業した大学発ベンチャーを対象としたベンチャーファンド。

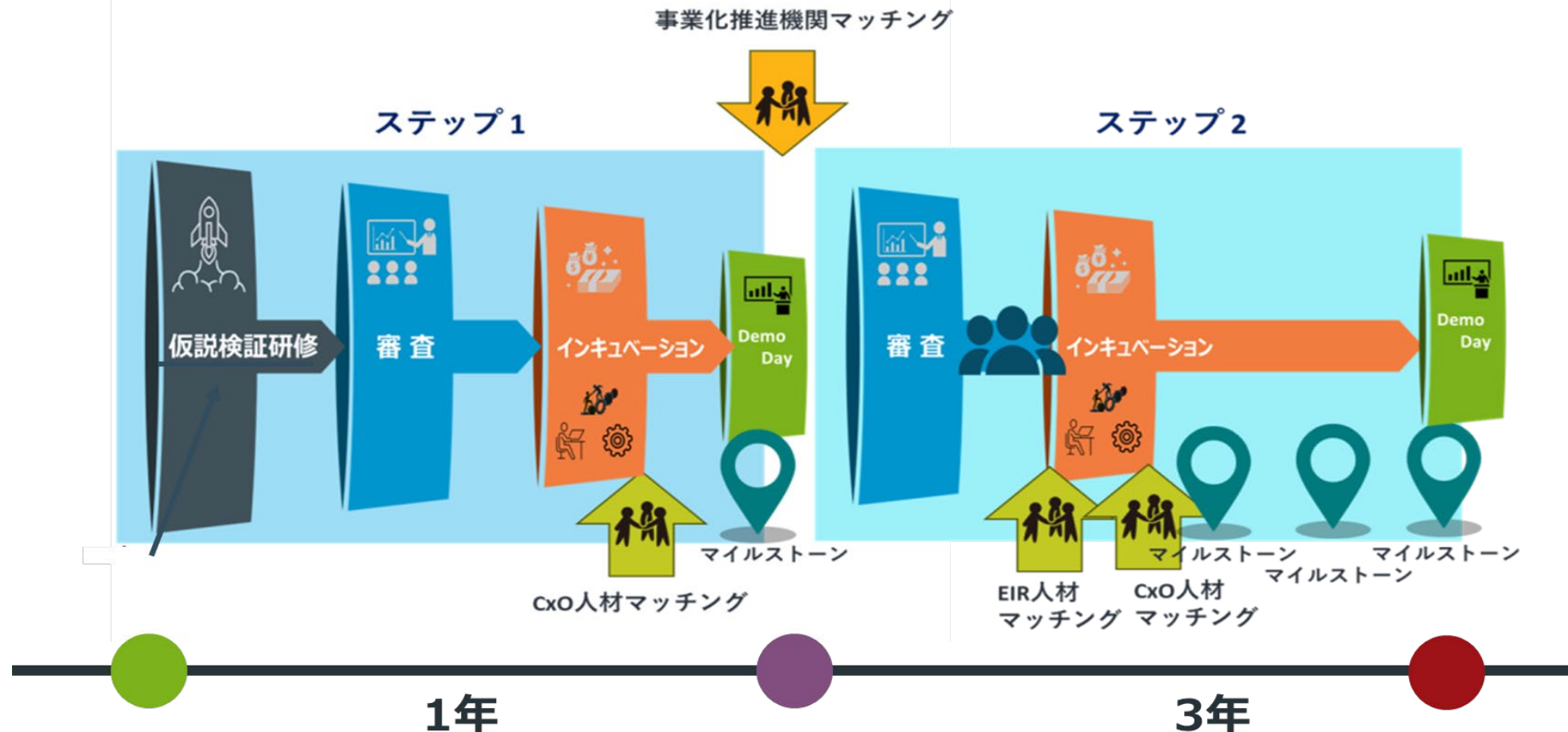
起業したベンチャーには、“名古屋大学発ベンチャー”の称号授与のほか、学内インキュベーション施設のオフィス支援、様々なネットワークを駆使した顧客やVCの紹介なども実施している。

起業



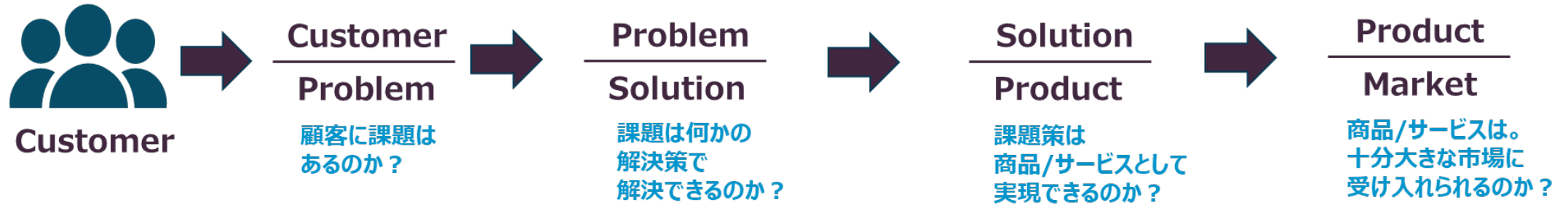
大学の研究成果が、事業化に適しているか？スタートアップとして産業を創れるのか？の検証。

大学等発スタートアップの創出に向けた取り組みについて質・量共に充実させ、大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの形成を目指していく。



	ステップ 1	ステップ 2
通常枠の最大採択金額（特別枠）	500万円 (1,000万円)	6,000万円 (1億円)
目的・対象	革新的な技術シーズについて ・顧客を作るためのトラクション作り ・課題とSolutionのFitを検討し、ビジネスとしての可能性を評価する。	医療系（創薬）のみ特別枠を設定 本格的にSU組成を目指す。 ・ビジネスとしての可能性評価 ・PoCを固めていくステージとして、Product/Market Fit (PMF) の設計を目指す。
技術分野	医療系（創薬以外、創薬）：医療分野、創薬分野、介護・福祉分野 モノづくり-Deep tech 系：上記以外全ての分野	
実施期間	2024年5月～6月頃 ～ 2025年3月末	最大3年（1年毎に継続可否の審査有）
採択件数（合計）	年間 35～50件程度 (採択率50%程度)	年間 6件程度 (採択率50%程度)
応募資格等	研究代表者は、15機関に所属する教職員、学生（博士、修士課程相当の学生に限る） 仮説検証プログラム等の事前研修の受講 VC等事業化推進機関の参画が必要	
申請制限	R4実施タイプA、START（プロジェクト支援型）、START（起業実証支援）、D-Globalの過去採択シーズでの申請不可	START（プロジェクト支援型）、START（起業実証支援）、D-Globalの過去採択シーズでの申請不可
インキュベーションプログラム	・起業化に向けたセミナー ・経営人材マッチング、等	・事業化推進機関を中心としたメンタリング ・海外研修プログラム、・経営人材マッチング 等

GAPファンド “STEP 1 のプログラム概要”



仮説検証 研修 3ヶ月

01



審査

02



インキュベーションプログラム

03



Demo Day

04

仮説検証

- ・技術シーズの用途探索
顧客の課題抽出
- ・技術価値の検証
解決策の抽出
- ・ビジネスモデルの構築

起業準備セミナー

- ・知的財産・利益相反
- ・経営戦略
- ・資本政策
- ・ストックオプション
- ・…………


Back Office 支援

プロモーションツール
CxO人材マッチング
メンタリング、壁打ち
インタビュー
(顧客発見・市場調査)

事業化推進機関との
マッチング

起業準備
協業相手の探索

名古屋大学・東海地区広域大学ベンチャーファンド



1号ファンド

日本ベンチャーキャピタル（株）
2016年～ 総額 25億円

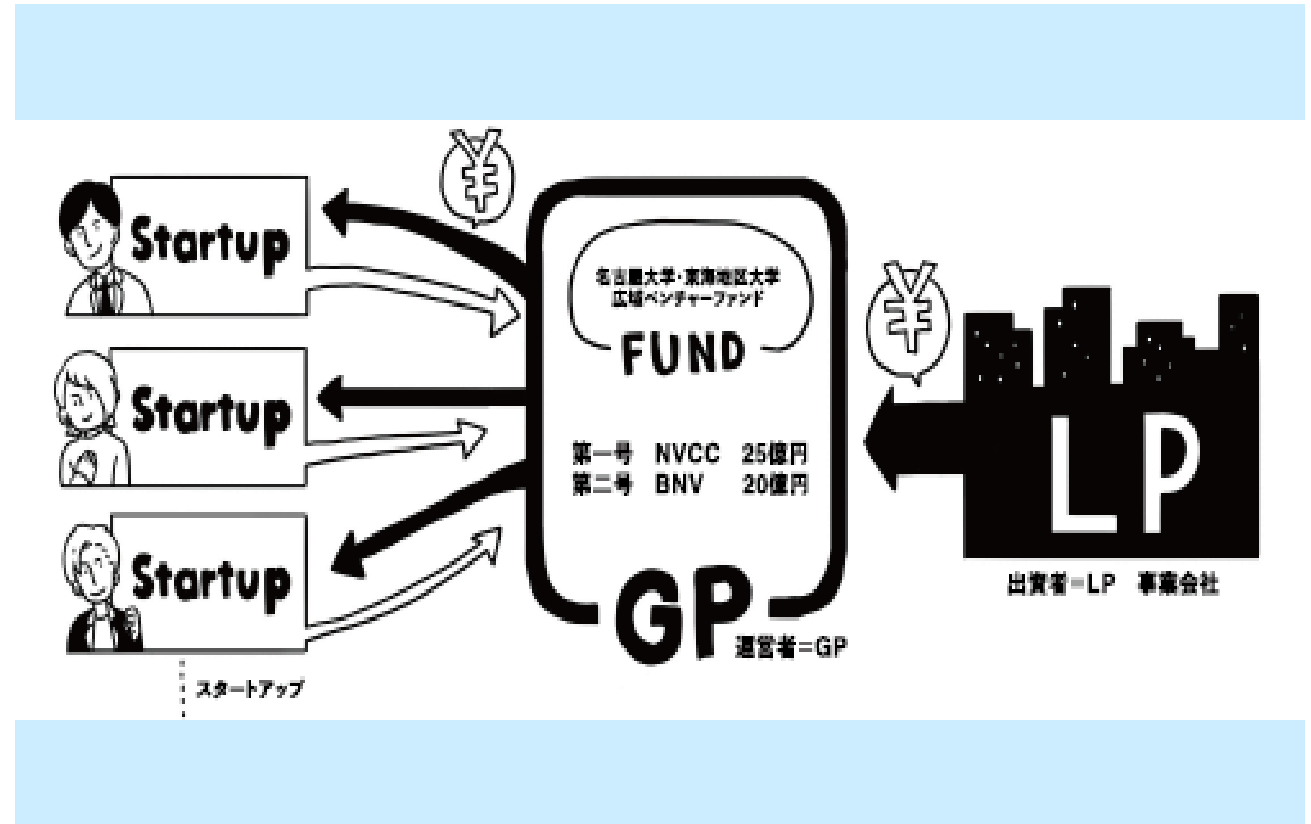
LPは、地元の金融機関や事業会社を中心に、17社が出資。

2号ファンド

Beyond Next Ventures（株）
2019年～ 総額 20億円

Sonoligo MabGenesis
GRA&GREEN Company
HITOTSU TOWING

:IPOした企業



2024年度の秋には、東海国立大学機構の子会社が、ベンチャーキャピタル（VC）を設立し、ファンドを組成予定。投資対象は、東海地域の大学発スタートアップを想定。

イノベーション、スタートアップを目指す方々のコミュニティ形成に向けて



学生主体の「イノベーションのゆりかご」 インセプションプログラムの実施&コミュニティ形成

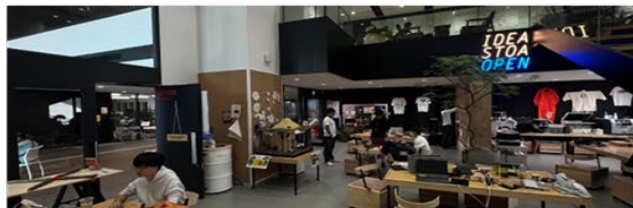


インセプションとなる起点活動に加えて、形成拠点としての認知度を拡大する活動として、①コワーキング利用、②イベントの活用、③Fab機器による制作活動にも力を入れ、利用の増加と連動（思考と共創と実装のつながり）によるスムーズなアイデアの実装・検証に取り組んでいる。

▼東海圏で他にないフルオープン型共創空間



▼コワーク&アイディエーション機会提供



▼デジファブ機器による概念実証支援



▼「問い」を深掘りし、失敗を恐れず価値を創出するプラットフォーム「JIKKEN」



▼「問い」をサポート（起業家等）と探求し次の学生へ繋ぐ「IDEA BATON」

